



とつか

2023年3月会報 第341号

国際会長(IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

2022 主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」

スローガン ‘Good Communication is the Cornerstone in Every Cooperation’

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen (Taiwan)

~ 主 題 “Elegantly Change Let with New Era” 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

スローガン “Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」

東日本区理事(RD) 佐藤重良 (甲府 21)

2023 主 題 “Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」

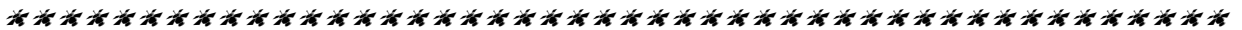
スローガン “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!”

「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

湘南・沖繩部部長(DG) 小松仲史 (厚木)

主 題 主 題 「楽しく・元気よく・前向きに」・副 題: 「入りたくなるワイズにしよう」

クラブ会長 吉原 訓 主題「原点回帰」: 副会長 若木一美・書記 加藤利榮・会計 岡 進・ネット 吉原和子



会員ひとこと



☆ 断・捨・離…その後 ☆ 加藤利榮

標題のコトバに触れたのは、21年1月号の本欄で、今から丁度2年前、コロナ騒ぎが2年目に入ったころでした。

先ずは、手近の‘捨’から…と手を付け始めた積りが、不要となったモノを捨てるどころか、ほとんどがそのままの状態です。

てしまいました。今や、実行力に欠けるわが身を顧み、呆れるばかり…とは申せ、サキの見えてきたコロナを機に今年こそは…とカんでいる始末です。そして、もて余す時間を‘懐かしのスクリーンを観ることに替わり(?)、前回の60本がこの2月末現在で207本となりました。2時間を超える‘長尺モノ’ではインターミッションまであります。因みに今まで一番長かったものは、E. テラー主演の「クレオパトラ」(1963年制作・244分)・20万人を超えるエキストラでも話題に…。「ベン・ハー」「戦争と平和」も長かった…。

ところで、ワイズやYMCAの活動もそろそろ軌道に…といったところでしょうか…。会長も本欄で言われたように、ユースリーダーとの協働プロジェクトも是非軌道に載せなければなりませんし、クラブとしてまだまだやるべきことが少なくありません。来年はクラブ設立30年、今こそメンバー丸となり、湘南とつかYMCAとともに全力投球する時です。

◎今月の聖句◎

父である神とわたしたちの主イエス・キリスからの恵み、憐れみ、そして平和があるように。

～テモテへの手紙Ⅱ第1章第2節から～

コロナもそろそろ先が見えてきたようですが、早春3月、神も祝福しておられます。神の母に捧げられたこの日、世界の平和と一人ひとりの幸せを祈ります。

今日の日が、一日も早く喜びと希望の時になりますように…。

強調月間

CS ・ Green Project ・ ワイズメネット

CSは **Communitu Service** 地域社会・隣人への奉仕活動、持続可能な開発目標を目指した活動が望まれる。

Green Project は、2010年横浜での69回国際大会で採択された太陽光発電システムの提唱など地球温暖化対策の一環で、国際がそのイニシャティブをとる。

ワイズメネットはMenのパートナーや単独での呼称。

～2月の会合～ 会員数 : 11名

例会出席: メン 7名 ・ 出席率: 80%

メネット他・ 3名

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★



日時：2023年2月21日 18:00～20:00
 場所：湘南とつかYMCA・2階 205号室
 出席者：浦出・加藤・鈴木・瀬戸・土方・若木・
 吉原ネット 計7名（敬称略）

標記定例会が開催されました。前日の春の陽気から一転、寒い中を標記面々が集まりました。

報告では、2月11日の会員大会、「ガンダムの安彦 良和監督をお迎え、歴史から学ぶ戦争と平和について語っていただいた。会場参加・オンライン参加合計で250名近い参加があった。

引き続き協議に移り、次期会長には現在のまゝ、吉原訓さんが引き受けられ、他の役員も全員留任することが決まりました。また、次期事業については、リーダー会との交流や視察・親睦等について、ゆるやかな連携・協働を図りながら活動を進めることを確認し、担当主事の瀬戸さんにその橋渡役を依頼することとし、来月以降に具体化に入ることを申し合わせた。

YMCA関係では、明日の22日の「ピンクシャツデー」への取り組みが担当主事から紹介され、また、当面の日程等について、出欠確認がなされた。3月7日(火)の「Y-Y's協議会」、3月25日(土)のリーダー感謝会に、クラブからも参加すること

が確認された。また、3月の例会も感謝会の同日、開催することを申し合わせた。

協議終了後、薩摩館長も加わり、ピンクシャツなどを携えて、全員記念写真に納まった。

寒い身体を温めにファミリーレストランに立ち寄り会食し、全員無事に帰路につきました。話の中で、家庭内のいじめが怖いからピンクのシャツを着たまま帰ろうという人もいましたが、ワイズの信条の「自分を愛するよう、隣人を愛そう」の結論に至りました。



☆22年度ピースフォーラムから☆ 加藤 利榮



前日とは打って変わって穏やかな晴天に恵まれた2月11日(土・祝)、22年度の会員大会“ピースフォーラム”が湘南とつかYMCA 1階ホールに170名が参集(ZOOM参加あり)、午前10時、会員事業委員の鈴木 茂さんの総司会により始まりました。

オープニングは、黙祷・聖書の朗読(「ホセア書10章12節」・今城宏子さん担当)、先ほどまで歓談やあいさつのつぼだった場内も、静寂が支配します…。

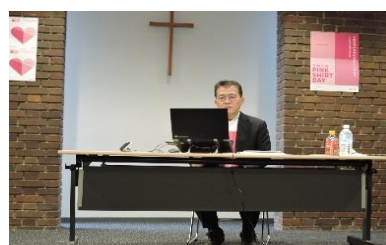
特別講演は、「歴史から学ぶ戦争と平和」のテーマで『機動戦士ガンダム』の原作・総監督の安彦 良和氏、ガンダムを見聞きしたことのない私たち‘オトシヨリ世代’にも、『ロシアによるウクライナ侵攻』から『神話と平和の中身』は「必ずしも勧善懲悪の中身ではない。」等々、理解できる内容でした。

引き続いてのプログラム、「分かち合いの時」「ウクライナ支援報告」「広島ピースキャンプ報告」「YMCA維持会員のご案内」等のプログラムすべてが順調に進み、佐竹総主事による「感謝の言葉」をもって、予定した定刻の12:30、閉会しました。

これらプログラムの中で、YMCA山手台学童クラブ所属の小学6年生と4年生の男子二人による「ヒロシマキャンプ報告」では、会場正面に映し出された‘原爆ドーム’などの画面とともに、一瞬、場内は鎮まり返り、耳を傾けたひと時でした。



☆ピンクシャツデー講演会に参加して☆ 加藤 利榮



春の陽気を思わせる2月18日(土)午後3時から関内中央YMCA9階チャペルにおいて、標題の会合が開かれ、参加してまいりました。

講師は田畑栄一さん、現在、埼玉県越谷市立新方小学校長、コロナ感染症によるさまざまな活動制限から、多くの子どもたちが知らないうちにストレスを感じるようになり、挙句の果てにいじめや不登校といった子どもたちを取り巻く環境にも変化が生じているといわれ、温かい気持ちになる笑いを生み出す『教育漫才』の取り組みにより、子どもたちに「あたたかいコミュニケーションとは何か。」を实践伝え続けている田畑校長先生のかなり生々しいご体験が披露されました。

先生の目指す教育目標は、「創造してたくましく生きる。」ことを目指す学校像を念頭に取り組んでおり、例えば、「夏休み明けの自殺・不登校を出さない対策」には、あらかじめ、7月に「自殺予防教育」を、また休み中の8月22日には「臨時登校日」を設けて予防を図っている。さらに、いわゆるマイナスことば(死ね・うざい)は×、叩くなどの暴力はしない… などの指導が実施されている…。

終わって、名刺を頂いたら、当方と同じ大学という事も分かり、改めて親しさ倍増といったところでした。



東日本区次期理事 山田 公平 (宇都宮クラブ)

2017年2月に東山荘において「20周年記念東西日本区ワイズ交流会」が開かれ、そこでYMCAとワイズ双方がパートナーシップの在り方を検討する委員会を設置することを提案しました。東西日本区から理事トロイカが集まり、YMCAからも同盟総主事をはじめ両区の担当主事も出席しました。そして、その秋から3組織の代表者たちが集まり、年に2回の話し合いをしてきました。コロナ禍にあっても新たなワイズとYMCAの協働事業の可能性への協議をしてきました。「ワイズの100周年で、ワイズとYMCAも入れるような仕組み作りができないか。」そのような議論がユースアクションの始まりでした。表題にあるYsというのはワイズとYMCAのYであり、そこにYouthのYも含めたYsというグループが、各地域にあるSDGsの目標を目指したYouth Actionを奨励しようということになりました。

全国でユースによるプロジェクトを募集したところ、18チームが応募、その内10のプロジェクトを最大20万円支援するという新しい取り組みです。この2月が活動の締めになりますが、選考された10チームからは素晴らしい活動報告が出てきています。予定どおりにいくどころか、失敗があっても、それが次の予想外の結果を生み出す。そんな活動が地域で話題になり、地方新聞に取り上げられたり、市役所の特別補助金を得たり、助成金が集まっていることが数々出てきました。取り組んできたユースにとり、この反応には驚き、喜び、「自分たちでここまで出来たんだ。」という自信にもつながったと思います。これこそ本当の「ユースエンパワメント」です。

ワイズが地域課題に対して事業やプログラムを作り、そこにユースを巻き込むのではなく、ユース自らが考え、悩み、実行していく活動にこちらから歩み寄り、伴走していくことが大切だということが分かりました。

この活動は、必ず未来のYMCA、ワイズメンズクラブ双方にとり、大きな存在意義・価値(ブランド)になっていくと確信しております。

(山田公平次期理事様、ご多用の中ご投稿賜り誠に有り難うございました。B/E)

【アンジュ通信】 横浜YMCAワークサポートセンター 相馬 良文



2022年度も、残すところ1か月となりました。今年度もワークサポートセンターから就職者を出すことができました。年末から実習や面接などを重ね、晴れてアンジュを卒業されました。就職先は大手企業の特例子会社です。就職した方へのはなむけとして、ボールペンと花束・寄せ書きを贈ります。新生活での活躍に思いを込めたプレゼントとメッセージをみんなで作り、お渡しします。



元那覇クラブ 長嶺 将邦

「長嶺さん お元気？」

なんか懐かしい声、そう とつかクラブの加藤さんからです。「とつかのブリテンになにか書いてくれない?」、那覇クラブのメンバーに原稿依頼をされていると聞いていましたが、私には回ってこないと思っていました。とうとうきましたか…。

沖縄YMCAはコロナの関係で野外活動はほとんどできませんでした。YMCAから野外活動をなくすとYMCAではなくなるような思いです。今年こそは頑張ってプログラムを計画・実行したいものです。今帰仁(なきじん)に(日本基督教団)のキャンプ施設があります。そこを利用しようと考えております。一昨年は火山灰の塊が海岸に押し寄せて甚大な被害もありました。その火山灰の撤去作業も兼ねてキャンプの予定でしたが、やはりコロナで中止せざるを得なかったです。

学童は令和4年度は2クラス(それまでは1クラス)に人数を増やして、職員も増え、元気いっぱい活動でした。8人乗りのワゴン車を購入することも出来ました。活動ができなかった予算から何とかやり繰りすることができました。これまでの維持会費のおかげでもあります。感謝しております。



那覇ワイズメンズクラブが退会の報告をして1年余、メンバー6名で月2~3回の模合をしています。YMCAへの支援金として千円徴収して預金もしています。普段はワタシの方からYMCAの現況や計画等の話しをし、協力が必要なら依頼もします。メンバーはリタイアした方もいますが、自由な時間が取れてYMCAへの貢献もいっぱい取れると思いましたが、そうでもないようです。体力的にも無理が利かなくなっている年代もいます。

今日は2月22日、ピンクシャツデーです。学童たちにこのことを話しました。横浜YMCAの紙芝居を観て、みんなで「いじめ」について考えました。ピンク紙に感想文も書いてもらいました。「わたしはせかい中をピンクにしたいです。」「わたしは、このおはなしてたのしかったことは、みんなにまさかようふくをかうなんて、それがおもしろかったです。」「わたしは、ピンクやハート♥が町じゅうにひろがってほしいです。そうしたら、けんかもなくなるはずです♥みんな!なかよくしようね。」(原文のまま)子どもたちの感想でした。絵も描いていましたね…。短い時間でみんな感じたことがあったので、素晴らしい感想でした。指導員たちも今後の子どもたちの成長を見守っていきます。

(上記写真は、その時の様子です。)

4月からは、YMCAの企画立案ができる職員(学童も見ます。)も採用の予定です。

これまでよりも活動が活発になることを願っています。今後ともご協力をお願いします。(令和5年2月22日 記)



担当主事 瀬戸俊孝

先日、2月26日(日)～27日(月)に横浜YMCA全体のリーダー研修会(通称YLET)が三浦YMCAで約50名のリーダー・スタッフが参加して行われました。コロナの影響で対面での開催は3年ぶりでした。

この研修会は、リーダーの実行委員会が中心になり、研修会の企画、募集、実行とすべてを行います。実行委員会のリーダーは、今年度東日本YMCAリーダー研修会や全国YMCAリーダー研修会などに参加した経験リーダーが中心です。

今回、湘南とつかYMCAからは14名のリーダーが参加しました。実行委員会にも数名関わっていてたくさんのリーダーが2日間の研修で刺激を受けたようです。

リーダーは個人の意思で活動しますが、そこで出会った仲間との交流や寄り添う体験は今後の彼らの生涯に大きく影響があると思います。YMCAの原点の活動を垣間見た気がしました。彼らの未来が楽しみです。

ワイズの皆さんには、リーダーの活躍を今後も温かく見守り、サポートしていただくと幸いです。今後もリーダーと共に活動をいたしましょう。



【今月の歳時記】 “ 水温む みずぬるむ・雲雀 ひばり ”

水温む：春の暖かい陽射しで水はぬるんでくる。洗濯や水仕事などを行っている女性には何よりも喜ばしいこと。田舎の水ばたで洗い物をしているお母さんたちの明るい笑い声が聞こえてくる。子供たちはひざまで水につかり遊ぶ。

水ぬるむ主婦のよろこび口に出て 波津女
水温むうしろに人のあるごとし 公平
一日使ひし手の艶水温む 節子
子を愛つる言葉ひたすら水温む 汀女

雲雀：春の野に空高く朗らかにさえずる雲雀は最も人々に親しまれる。巣を飛び立つときはピーチュルと鳴きながら真直ぐに高く舞い上がり、しばらくさえずった後、歌をやめて一直線に降下する。羽色は地味な淡黄色。巣は晩春に営むが、草間の地上に枯草や根で皿形の粗雑なものをつくる。

雲雀より空にやすらふ峠かな 芭蕉
雨の日は雨の雲雀のあがるなり 敦
わが背丈以上は空や初雲雀 草田男

- ◎ 例会：3月25日(土)18時・湘南とつかYMCA
近くなりましたら担当主事から連絡させていただきます。
- ◎ 次期役員研修会：3月4～5日・東山荘
- ◎ ユースリーダー感謝会：3月5日・15時・中央Y
- ◎ 第97回Y-Y's協議会(zoom)・3月7日・つるみ



Happy Birthday
薩摩 藤太さん 20日
吉原 訓さん 27日
岡 進さん 30日

☆ トピックス

加藤利榮 倉ク

あの日下部美幸さんが ～鎌倉クラブ～

あの日下部さんが、2月5日、病でお亡くなりになりました。今から7年ほど前の15年6月、厚木で開かれた区大会の折には、会場のエスカレーターの脇に、やや大柄な美人のお出迎えをいただいて…。いまだに印象にあります。健康運動指導士として気功の専門家で、厚木から鎌倉に転入会されたと同っていた折も折でした…。祈 平安

(その一) ‘ガンダム’ 余聞…

2月11日に開催された‘ガンダム’の作者、安彦先生の肝心の「戦士」を…とネットを繰ってはみましたが、版權管理が行き届いていて本欄に載せることができません。一つ分かったことは、最近、横浜・桜木町のMM21地区に、高さ18メートルもの巨大なカシガ展示されているとのこと、折を見て、ケンガク? を…と思う昨今です。

(その二) ‘ピンクシャツデー’ とは…

ピンクシャツを着た男の子が「ホモセクシュアルだ…。」とからかわれたことをきっかけに、いじめをなくそうと、上級生たちがピンクのシャツを着て登校したエピソードに基づいているとか…。全国のYMCAでは毎年2月の最終水曜日をピンクシャツデーとし(本年は2月22日)、いじめについて考え、いじめで悩む人に寄り添う時としています。

(その三) ‘登山’ でいえば、間もなく家の玄関に…

あのキョウウイク・キョウヨウで名を馳せた作家先生のご本によれば、山登りは、頂上から降りてきて、家の玄関口で、‘ただいま’と言って戸を開けて、初めて、その登山が無事終わったことになるので、その手前まではまだ登山は無事終わったとは言えません…。お分かり…? もう直ぐですよ…!?

〈後記〉

‘コロナ去りて…匂い起こせよ梅の花’